

|      |       |
|------|-------|
| 教科名  | 社会    |
| 科目名  | 地理    |
| グレード |       |
| 単位時間 | 1単位時間 |
| 対象学年 | 中学2年  |

|          |   |
|----------|---|
| 科目の概要と目標 | 日本全体の人口問題や経済活動についての学習。そして各地方ごとの地域的な特色や経済活動や課題を学習する。そうした学習を通して、地域ごとの課題や持続可能な社会の創造のためのこれからの取り組みを考えたりして理解を深める。   |
| 使用教科書    | 帝国書院『中学生の地理』  |
| 使用副教材    | 東京法令出版『2022 2023『グラフィックワイド地理 I・II』<br>浜島書店『地理の学習 2(帝国書院準拠)』   |
| 評価の方法    | 定期考査, 課題レポートや夏休みの宿題などの提出状況, 授業態度、出席状況   |
| 学習の方法    | 教科書・授業プリントの復習, ワークによる問題演習<br>授業で学んだことの復習(ノートの見直しや教科書の見直し)が、授業のあった日の夜などにできると知識の定着がはかれると思います。   |
| 生徒へ一言    | 「社会は暗記」という考えはそろそろ脱却しましょう。<br>言いたいことは、「知識を得れば(覚えれば)勉強終わり！」ではないということ。<br>むしろ、知識を得るところが、学習の始まりだと思ってください。<br>知識を持つことで、様々な思考活動が可能になります。社会科で学んだ雑学が、英語や国語などの文の内容を理解することに、いつの間にか役に立っているものです。<br>「これのために役立つから覚えましょう！」という動機ではなく、広い知識は自然と人生を豊かにしてくれるものと考えましょう。 |

| 月    | 授 業 予 定                      |
|------|------------------------------|
| 4月   | 中1からの続き 日本の地域的特色(「日本の人口」以降)  |
| 5月   | 日本の地域的特色(日本の商業、交通網、情報網、地域区分) |
|      | 5月31日～6月2日 前期中間考査            |
| 6月   | 日本の諸地域(九州地方)                 |
| 7月   | 日本の諸地域(中国・四国地方)              |
| 8・9月 | 日本の諸地域(近畿地方)                 |
|      | 9月27日～29日 前期期末考査             |
| 10月  | 日本の諸地域(中部地方)                 |
| 11月  | 日本の諸地域(関東地方)                 |
|      | 11月25日～28日 後期中間考査            |
| 12月  | 日本の諸地域(関東地方)続き               |
| 1月   | 日本の諸地域(東北地方)                 |
| 2月   | 日本の諸地域(北海道地方)                |
|      | 2月28日～3月1日 後期期末考査            |
| 3月   | 地域の在り方 地域的な課題の研究             |